

WE STAND WITH

UKRAINE

Kyoto loves and supports Kyiv



Nina・Butieva
ニナ・ブチェヴァ

こんにちは привіт

Daria・Ternova-Bordun
ダリア・テルノヴァン-ヴォルドウン

ありがとう Дякую

Where is Ukraine ?



Where is Ukraine ?



Where in Ukraine ?



Kyiv



Kyiv



Bakota



The Pink Lake



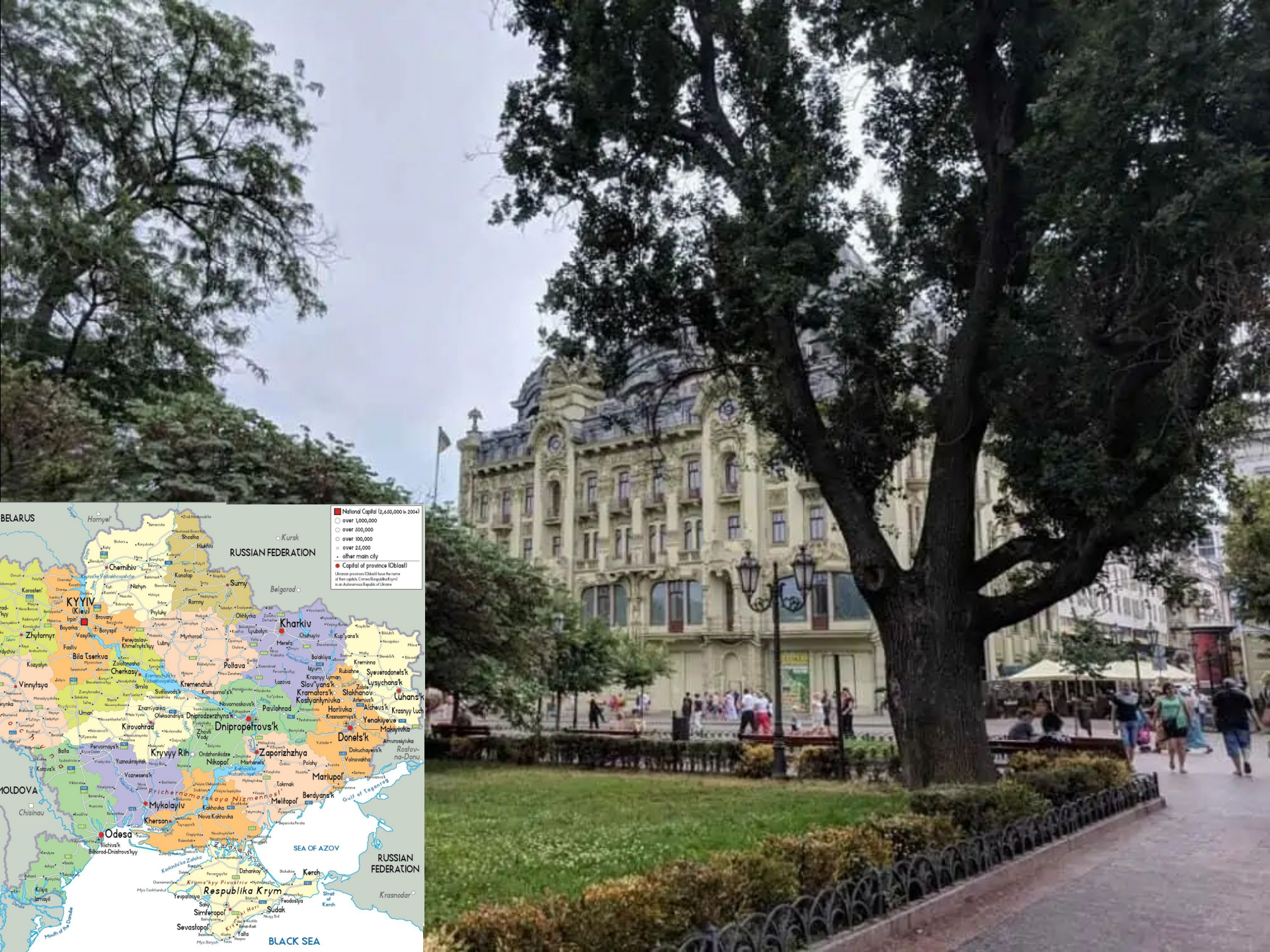
Hoverla Mountain



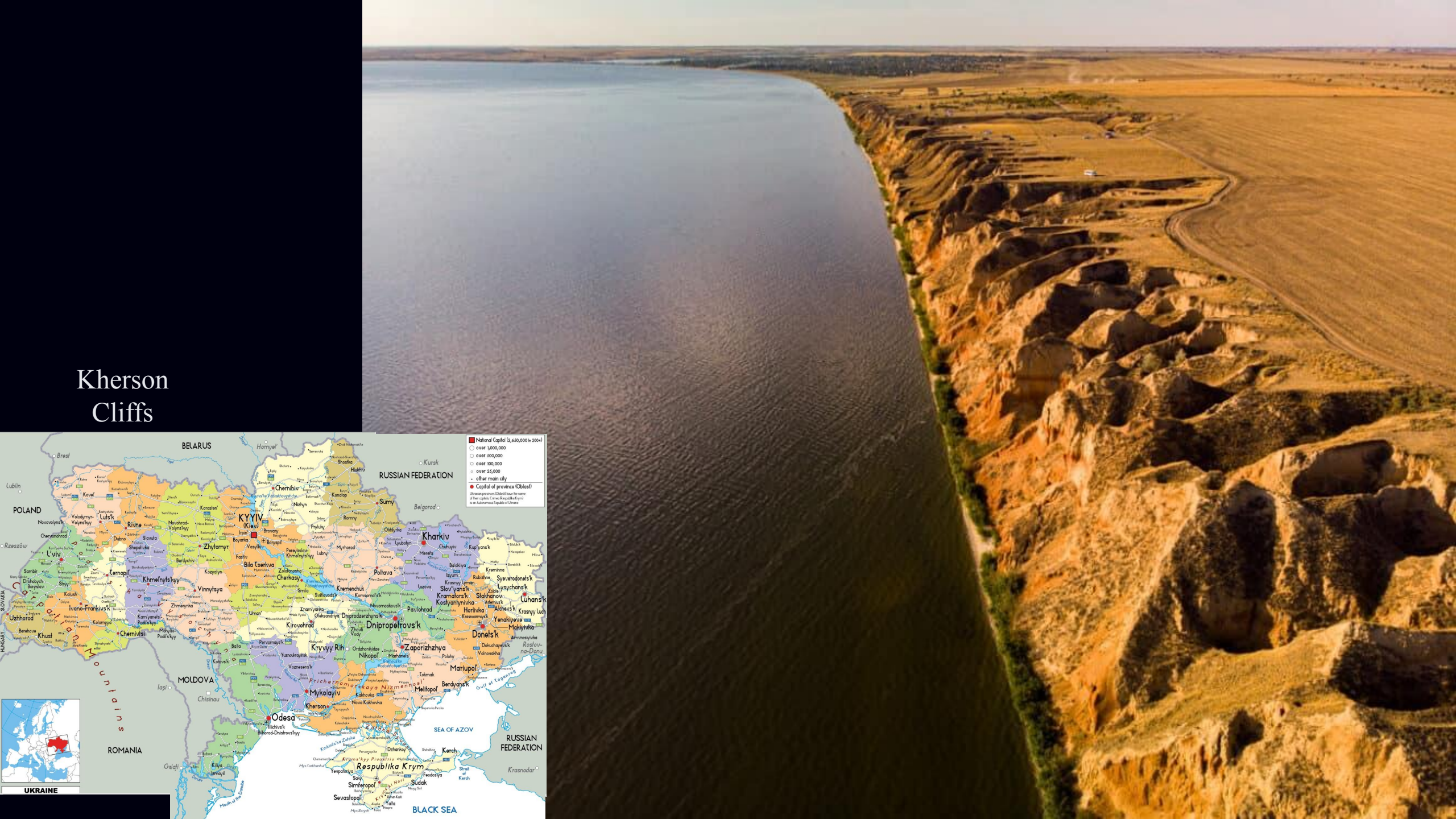
Kamianets-Podilsky



Odesa



Kherson Cliffs



Uzhhorod



Mukachevo





borscht



Ukrainian
food:
bograch,
borscht,
varenyky,
nalisnyky,
banosh,
galushky,
grechanyky,
deruny

Uzvar

Kulich
Smalets
Kutya
Pyrizhky
Palianytsia
Verguny
Vyzharky
Nalyvka
Samogon,
pervak
Kholodets



Varenyky



ウクライナ料理

ウクライナの最も代表的な家庭料理は**ボルシチ**（ビーツの熱いスープ）という。元々ウクライナ料理であり、周辺国でも人気になった。赤カブの赤紫の色と優しい甘味が特徴的である。ビーツの他、お肉、じゃがいも、キャベツ、にんじん、玉ねぎ、大蒜、トマトペースト、パセリを使う。サワークリームを入れて、大蒜のパンまたはサーロのサンドイッチと一緒に食べる。



「ウクライナの餃子」ともいわれる**パレニキ**。小麦粉に水を加えて薄くのぼしてつくった皮で、中にはコテージ・チーズ、マッシュ・ポテト、炒めたキャベツ、などを入れる。また、チェリー、イチゴ、ブルーベリーを中身にして、デザートとして食べる場合もある。必ずサワークリームを入れて、美味しく食べる。



ウクライナのクリスマス

ウクライナはキリスト教の国である。クリスマスはもっとも大きな行事である。ウクライナ人は伝統的に1月7日にクリスマスを祝う。また、2017年から12月25日も国民の祝日になった。クリスマスは家族で祝う祭で、みんなで集まって、クリスマス・ディナーを食べる習慣がある。



この日、ウクライナ人は朝から何も食べず、夜は一番星を見てから食事をする。その星はキリストが生まれたというサインで、それを見てから、ウクライナ人がお祝いを始める。クリスマス・ディナーは断食との関係で12人の使徒を代表する12種類の野菜料理のみからなっている。



また、ウクライナ人はクリスマス・キャロルを歌う習慣がある。ウクライナ語でクリスマス・キャロルはコリヤドカ (Koliadka) と呼ばれている。また、ウクライナの最も古代の習慣の1つであるヴェルテブ (Vertep) も行う。ヴェルテブは演劇パフォーマンスと日常生活を反映したコメディを通じた祈りに似た神への賛美である。

ウクライナ料理

キエフ・カツは世界で最も有名なウクライナに起源を持つ料理の一つであり、料理名はウクライナの首都であるキエフが語源とされている。バターを骨なしの鶏胸肉で巻き、小麦粉、溶き卵、パン粉の衣をつけて、フライパンで揚げた後、オーブンで焼くカツ料理。日本語ではよく「キエフ風カツレツ」と呼ばれている。



ボルシチとパレニキと並んで、ウクライナの最も代表的な伝統料理である**サーロ**。豚の脂身の塩漬けで、「ウクライナの刺身」とも呼ばれている。その歴史としては、戦争に出かけるウクライナの Cosaq はいつもサーロを保存食として持参していたと言われている。黒パンに乗せて、または、大蒜と混ぜたペーストにして黒パンに塗って食べるのが一般的。



ウクライナの文化

ウクライナの魔除け人形の**モタンカ** (Motanka)。モタンカは針を使わず、布に糸をグルグルと巻き付けて作る。また、この人形の最大の特徴は、太陽神のサインを表している十字に結ばれた顔である。モタンカは、持ち主を災いから守り、幸せや富を呼び込み、また衣の一部をさわって願い事をする、夢をかなえてくれると言われていた。結婚式の時もお守りとして使う。



ウクライナの民族装飾の芸術を代表するものは、**ペトリキウカ** (Petrykivka) 塗りという。ウクライナの伝統的な装飾画で、我が国の東部にあるドニエプロペトロフスク州の村のペトリキウカが起源である。ペトリキウカ装飾は現地の動植物に対する注意深い観察を元にした幻想的な花と自然要素を描くことが特徴。2013年にユネスコの無形文化遺産に登録され、世界的に有名になった。



ウクライナの民族衣装



ウクライナ国の伝統的な民族衣装のシャツは**ヴィシヴァンカ** (Vyshyvanka) と呼ばれている。ふわっとしたシャツに細かい刺繍が入っているのが特徴で、地域によって色と模様が違う。一番代表的な色は赤と白、模様は花柄。刺繍が同じく入っているウクライナの伝統的なクロースの「ルシニキ」とともに、病気や悪霊などの「悪しきもの」から身を護るための「魔除け」の意味がある。ウクライナ人は日常的に民族衣装をあまり使わないが、行事の際に必ず着る。女性も男性も帯を使う。また、女性は、頭の花飾りを被る。なぜなら、スラブ民族がシュメール文化から受け継いだ「晴れ渡った空」のシンボルであり、「平和の晴れた空」との願いが込められているからだ。



ウクライナの文化

ウクライナは長い歴史と伝統、また、独特な文化を持っている。日本でよく知られているボルシチはウクライナのオリジナルな料理で、コサック・ダンスは16世紀にウクライナで武装訓練として誕生した。また、世界中で有名な小説家のミコラ・ゴーゴリ、画家のダヴィド・ブルリュークとカジミール・マレーヴィチ、彫刻家のオレクサンダー・アーキベンコ、バレエダンサーのセルヒー・リファールはウクライナ生まれだった。



ウクライナの伝統的なイースター・エッグは、**ピサンカ** (Pysanka) と呼ばれ、ウクライナ語の「ピサーチ」(書く)を意味する。ウクライナでは紀元前から「卵には神秘的な力がある」と信じられ、そこから卵の殻に装飾を施す風習が生まれた。「ピサチョーク」という道具に蜜蝋を入れて火で溶かしながら線を描き、染料につけて染めることを繰り返し、卵の殻に精緻な模様を染め付けていく手工芸。



ウクライナ・コサックの理想像である「コサック・ママーイ」

オデッサ

ウクライナ南部に位置し、黒海に面している港町。「黒海の真珠」と呼ばれている。1794年に創立され、長年にわたり自由貿易港だった。ウクライナで3番目大きな都市で、商業、科学、文化の重要な中心地であり、ビーチリゾートとしても人気。多国籍都市であり、国際的な雰囲気の特徴。オデッサ人はユーモアが好きで、毎年、「ユモリーナ」という祭りが行われている。横浜市と姉妹都市。



19世紀始めオデッサの知事だったリシュリュエ公の彫像。港に顔を向き、右手でお客を招いている。



1887年に建設されたオデッサオペラ・バレエ劇場。世界の最も美しいオペラハウスの一つである。



1841年に建設され、映画「戦艦ポチョムキン」の舞台となったポチョムキンの階段とオデッサ港。

キエフ

5世紀に東スラブの公爵キーイと彼の兄弟シュテーク、ホリーウとリービジによって創設された。9世紀にキエフ大公国の首都となり、ヴァリャークからギリシャに続く道の重要な一部となっていた。キエフ大公国は988年にキリスト教が導入され、11世紀にキリスト教文明世界の主要国となった。現在ウクライナの首都で、最大都市、政治・経済・文化的な中心地。京都市と姉妹都市。



キエフ・ペチェールシク大修道院。中世前期に建設され、ウクライナ正教会に統括（世界遺産）。



コサックの指導者だったB.フメルニツキーの記念碑と1037年建立の聖ソフィア大聖堂（世界遺産）。



キエフにある建築民俗博物館。野外博物館で、ウクライナの全地域の伝統的な物を体験できる。

リヴィウ

ウクライナ西部のハリチナー地方の中心都市で、国の文化首都として知られている。13世紀にハルィチ・ヴォルィーニ大公国の初の王、ダヌィーロ・ロマーノヴィチによって建設され、息子のレーヴにちなんで名付けられた。ウクライナの西部はポーランドとオーストリア・ハンガリー帝国の一部だった背景からヨーロッパの雰囲気著しい。東欧の初の印刷所が設立された所。



リヴィウの中心部はユネスコの世界遺産に登録され、数多くの建築記念碑がある。



13世紀まで歴史が通るリヴィウのもっとも古いカトリック教会の一つの「ドミニカン教会」。



リヴィウには様々なテーマを中心としたカフェ、博物館やレストランがある。

カルパチア山脈

カルパチア山脈は中央ヨーロッパに位置し、全長が約 1500 キロ。ウクライナのカルパチアは山脈の東部にあたり、280 キロに及ぶ。全面積は 700 平方キロ。最高峰はホヴェールラ山 (2061 メートル)。綺麗な川に恵まれ、自然公園と自然公園が集中していることから動物多様性の保存に重要な役割を果たしている。カルパチアの人々は色彩に富んだ衣装、優れた木工技術とじゅうたん織りの独特文化が特徴。



ウクライナを含むカルパチア山脈などの欧州各地のブナ原生林群は欧州 12 か国に跨る世界自然遺産。



ウクライナのカルパチア山脈の最大湖シネヴィル。真ん中に島があり、「海の日」として知られている。



カルパチア山脈のウジョック村にある世界遺産の聖ミシェル協会。日本の木造工法と似ている。

ウクライナの城

我が国の歴史を伝え、その建築的多様性を代表するウクライナの城。昔は 5000 ヶ所に要塞があったが、現在は、116 ヶ所しか残っていない。その内、保存された城は約 25 ヶ所。もともと防御機能を持っており、17 世紀から主要人の公邸として使われるようになった。ウクライナの全領土にあるが、一番集中しているのは国の西部。各城には面白いストーリーと伝説があり、観光スポットとしてお勧め。



ドネストル川に位置し、10 世紀に作られたホティン城。戦略的に重要な位置から、何度も戦争の舞台になった。



国の南西部にある中世に創設されたカムヤネツ・ボドリシキー城。夜にライトアップされ、とても綺麗。



ウクライナのトランスカルパチア州にあるバラノク城。坂の上であり、面積が 14000 平方メートルある。

ウクライナの観光

ウクライナは日本人にはあまりに知られていないが、長い歴史、独特の伝統、美味しい料理を誇る。黒海とアゾフ海に面し、西と南に山があり、自然に恵まれている国である。ユネスコの世界遺産が 6 ヶ所、自然遺産が 1 ヶ所、数多い歴史的、文化的ランドマーク、博物館、オペラ・バレエ劇場等がある。交通網はよく発展しており、欧州の各首都から 4 時間以内に行ける。旅費が安く、治安が良く、日本人はビザが要らない。



現在、おそらくウクライナで最も有名で象徴的なスポットである独立広場 (ウクライナ語: マイダン・ネザレジノスチ)。首都のキエフの中心に位置する歴史的・政治的に重要な場所で、2004 年のオレンジ革命、また、2014 年の「尊厳の革命」(ユーロマイダン) の舞台となり、ウクライナ人の自由のための戦いのシンボルとして知られている。



キエフにあるアンドリーフ坂。



Nina · Butieva
ニナ・ブチェヴァ



by Daria · Ternova-Bordun
ダリア・テルノヴァン-ヴォルドウン



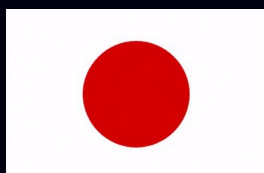
Maneki Neko

by Nina Butieva
ニナ・ブチェヴァ

Україна Виставка в Кіото, Японія

Церемонія : Моліться за мир та підтримуйте Україну

З 17 квітня 2022 року у храмі Хоугонджі



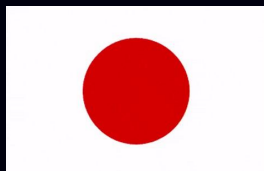
Дослідницький центр структурних досліджень японської культури



Ukraine Exhibition in Kyoto, Japan

Ceremony : Pray for peace and Support Ukraine

From 17th April 2022 at Hougouji Temple



Research Center for Japanese Culture Structural Studies

